

平成 24 年 8 月 21 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

アンゴラ共和国 ブロック 14 鉱区（原油生産鉱区）への参加について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、英国法人である 100%子会社インペックスアンゴラブロック 14 社を通じて、アンゴラ共和国沖合ブロック 14 鉱区（原油生産鉱区）の 9.99%権益を取得することについて、トータル社（仏）と合意しましたのでお知らせします。なお、今回の権益取得については、アンゴラ政府当局の承認を含む契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となります。

ブロック14鉱区は、アンゴラ共和国カビンダ州沖合約100kmに位置する既発見未開発構造を含む原油生産鉱区であり、鉱区面積は約4,094km²、水深は200～1,500mです。現在、ブロック14鉱区では、3開発区域にて洋上石油生産・貯油・出荷施設（FPSO：Floating Production Storage and Offloading）および近傍の生産施設へのつなぎ込みにより日量約16万バレルの原油生産を行っております。今後、探鉱活動や既発見未開発構造の開発を進めることで、さらなる価値の向上が期待される有望な鉱区です。

当社は今回の参画にあたり、トータル社の関係会社であるオランダ法人、アンゴラブロック 14 社（以下、同社）の株式の一部保有により、ブロック 14 鉱区の 9.99%の権益を間接的に保有します。ブロック 14 鉱区の権益は、同社が 20%（うち当社権益 9.99%）、シェブロン社（米、オペレーター）が 31%、アンゴラ国営石油会社であるソナンゴール社が 20%、エニ社（伊）が 20%、ガルブ社（葡）が 9%をそれぞれ保有しています。

当社は、アンゴラ共和国において、3/05 鉱区および 3/91 鉱区において原油を生産しており、またカビンダ北陸上鉱区では探鉱作業を実施しております。今般のブロック 14 鉱区への当社参加は、当社生産量や埋蔵量の拡大に確実に貢献し、資産ポートフォリオの拡充に寄与するものであり、INPEX 中長期ビジョンにおける成長目標の一つである上流事業の持続的拡大へ沿うものです。今後も引き続き有望地域での事業展開に積極的に取り組んでまいります。

なお、本件による当社連結業績への影響については、軽微であります。

以上

国際石油開発帝石株式会社 **INPEX CORPORATION**

〈鉱区位置図〉

